

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	都市計画論 [Urban Planning Theory]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング
科目コード	236700	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	平岡 直樹				学位授与の方針 との関連	DP1(2) DP2(1) DP2(2) DP3(4)	
授業概要	<p>本授業の目的は、都市計画とはどのようなものかを把握するための基本的内容を理解することです。単なる技術論ではなく、都市の美醜、快適さ、存在価値など、個人と都市のかかわりを視点として、評価する眼を養うことを目指します。また造園と都市計画のかかわりも考えます。日本の都市のみを対象とするのではなく、広く世界の都市を見渡し、国際的な視野で学びます。</p> <p>建設コンサルタント(都市計画及び地方計画部門)にて実務経験を有する教員が、都市計画関連業務の実例について、写真や図版を用いながら解説します。</p>						
関連する科目	造園学概論、世界の庭園と歴史、自然緑地計画論、景観論を事前に、都市緑地論、建築学概論を同時に受講することが望まれます。						
授業の進め方と方法	<p>毎回の授業にて、前回の授業の重要と考えられる項目についての小テストを行います。小テストの回答は次回の授業の冒頭に行います。小テストに備えて授業の後でしっかりと復習をしておいてください。授業は、都市計画の基本理念を講義するとともに、造園分野に関係の深い事柄について示します。また、理解を容易にするために写真や図版をなるべく多く提示します。自分自身でも日常の都市生活の中で類似の事例に出会った時の参考となるでしょう。</p>						
授業計画	<p>第1回 ガイダンス 授業の進め方や参考文献を紹介します。</p> <p>第2回 都市とは 都市とはどのようなものか、その成り立ちから変遷を学びます。</p> <p>第3回 都市計画とは 都市デザインとの違いや法律のもとで運用されていることなどを学びます。</p> <p>第4回 都市基本計画 都市計画マスタープランを中心に学びます。</p> <p>第5回 土地利用計画 都市の合理的な利用に不可欠な土地利用の様々な概念や制度を学びます。</p> <p>第6回 都市交通計画 徒歩から自動車、列車など都市活動に不可欠な交通について学びます。</p> <p>第7回 都市環境と公園緑地計画 都市の快適な環境を支えるみどりの機能を学びます。</p> <p>第8回 住宅・住環境の計画 都市の中で最も大きな面積を占める場合が多い居住環境について学びます。</p> <p>第9回 都市施設の計画 ライフラインや諸施設など都市活動を支える都市施設について学びます。</p> <p>第10回 都市環境の計画 都市活動を快適なものとするためにはどのように環境を保全すべきか学びます。</p> <p>第11回 都市の防災計画 都市生活を安全に継続するためにどのような施策や対策が取られているか学びます。</p> <p>第12回 都市の景観計画 快適で美しい都市環境を想像し保全していくための取り組みを学びます。</p> <p>第13回 参加と協働のまちづくり 豊かな都市環境創造のために市民と行政の連携がどのように進展してきたかを学びます。</p> <p>第14回 都市の再生 都市のリニューアルの必要性やその手法について学びます。</p> <p>第15回 身近な都市計画 都城市都市計画課に出前講座を依頼し、アクティブラーニング型のワークショップを行います。</p>						
授業の到達目標	<p>1) 都市や都市計画について体系的に学び、都市とはどんなものか、都市計画とはなぜ必要で、どのように行われるのかを身につけます。【専門分野の知識・理解】</p> <p>2) 都市計画にかかわる専門職人として必要な基礎的知識や技術を学び、持続可能な循環型社会の実現に向けた課題発見と問題解決をはかる手がかりを身につけます。【専門分野のスキル】【課題発見・分析・解決力】【実践力】</p>						
授業時間外の学修	<p>第1回目の授業で示す参考図書など都市や都市計画に関する資料を授業前に読んでおいてください。授業後に理解が曖昧な時は再度精読してください。また、自らの都市や都市計画に関する知識を深め、都市計画の社会的役割を理解するため、現在住んでいる都市や出身地の都市などに赴き、その構造や社会的位置づけなどについて観察し考察を深めてください。予習復習2時間程度必要です。</p>						
課題に対するフィードバック	小テストは、採点后に返却し、次回の授業にて解説をします。レポートは採点后に返却します。必要がある時はコメントします。				評価方法	以下の項目に基づいて評価します。 1) 小テスト及びレポート20点 2) 定期試験80点	
テキスト	授業中において配布する資料及び紹介又は指示する書籍						
参考書	<p>第1回目の授業(ガイダンス)において紹介します。主なものを以下に示します。①伊達美徳編著『初めて学ぶ都市計画』市ヶ谷出版社、2008年 ②川上光彦『都市計画』森北出版、2008年 ③森山、平岡他『ランドスケープアーキテクチャーの起点』ぎょうせい、2007年</p>						
備考	建設コンサルタント(都市計画及び地方計画部門)にて、都市計画関連業務の実務経験を有する教員が授業を担当します。						